

TAKUMI 継承ファンド / 総額 50 億円で 2 号ファンド組成

日本プライベートエクイティ株式会社

URL: <http://www.private-equity.co.jp>

中堅・中小企業に特化した MBO(マネジメントバイアウト)ファンドを運営する、日本プライベートエクイティ株式会社(JPE)は、「中小製造業」に投資対象を特化した MBO ファンドとして、昨年、三洋電機グループと共同で設立した『TAKUMI 継承ファンド』の第 2 号ファンドを総額 50 億円で組成しました。また、その第 1 号の投資先として、トロコイドポンプや燃焼ポンプの業界トップシェア企業である、日本オイルポンプグループへの出資も実行しました。

概要

JPE は、昨年 8 月、日本の“ものづくり”に関わり、独創的な技術やノウハウを有しながらも、事業承継や事業再編といった問題を抱える、優良な中堅・中小製造業に対して、MBO や MBI といった手法で企業価値の向上を図り、株式上場や M&A によって、次の世代へと継承していくことを目的とした『TAKUMI 1 号投資事業有限責任組合』を、三洋電機グループ、日本アジア投資(JAIC)グループ、金融機関等からの出資を得て、設立しました。

『TAKUMI 1 号ファンド』では、月島機械株式会社(東証一部上場)の子会社であった、株式会社浅野研究所の MBO を支援する等の投資実績がありますが、今回、1 号ファンドの設立から約 1 年強で、倍以上の規模で 2 号ファンドを組成するに至った背景としては、1 号ファンドの組み入れが約 7 割まで進捗したこと、事業承継問題を背景とした中小企業からの相談が増えつつあること、中堅・中小企業のなかでも、より大型の案件への対応が求められるようになったこと等が挙げられます。

『TAKUMI 継承ファンド』は、“ベンチャーファンド”や“買収ファンド”、“再生ファンド”とは異なる、“継承ファンド”と位置付け、日本に残すべき独創的な技術やノウハウ、匠の技術や技能を次の世代へとつないでいくことを目的としており、その基本理念として、

1. 日本の中小製造業の“匠”と“志”の継承
2. “製造業”と“金融業”の融合
3. “製造業”を“創造業”への 3 つの考え方を掲げています。

『TAKUMI 継承ファンド』を核として、三洋電機グループと JPE の両社がもつ「製造業」と「金融業」のノウハウを融合しながら、投資先の価値向上に関わっていくという、非常に珍しい形でのファンド運営がなされていますが、中堅・中小企業に特化している 製造業に特化している バリューアップ過程での差別化が明確である ニュートラルである といった特徴と差別化から、具体的に持ち込まれる案件相談は日々増えている状況にあります。

『TAKUMI 2号ファンド』には、既に、三洋電機グループ、日本アジア投資株式会社が出資しており、今後は、“日本のものづくりの継承”という理念に共鳴する事業会社、後継者問題に悩む中小企業を取引先に抱える地域金融機関等からも出資を仰ぎ、70～100億円規模へ増額することも予定しています。

関係各社 概要

日本プライベートエクイティ株式会社

本店所在地	東京都千代田区九段北一丁目 14 番 21 号
資本金	3,000 万円
株 主	日本アジア投資株式会社 51%、株式会社日本 M&A センター 49%
代表者	代表取締役社長 一志 真人、 代表取締役副社長 三宅 卓

三洋電機キャピタル株式会社

本店所在地	大阪府守口市京阪本通2丁目 5 番 5 号
資本金	1 億円
株主	三洋インベストメント株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 川上 浩生

三洋電機株式会社

本店所在地	大阪府守口市京阪本通二丁目 5 番 5 号
資本金	1,722 億 2,342 万円
代表者	代表取締役社長 桑野 幸徳

日本アジア投資株式会社

本店所在地	東京都千代田区麹町二丁目 4 番地
資本金	233 億 2,342 万円
代表者	立岡 登與次

お問い合わせ先

日本プライベートエクイティ株式会社 法田(ホッタ)

東京都千代田区九段北一丁目 14 番 21 号 九段アイレックスビル 6F

TEL: 03-3238-1726 FAX: 03-3238-1639

E-mail: s-hotta@private-equity.co.jp URL: <http://www.private-equity.co.jp>

以上